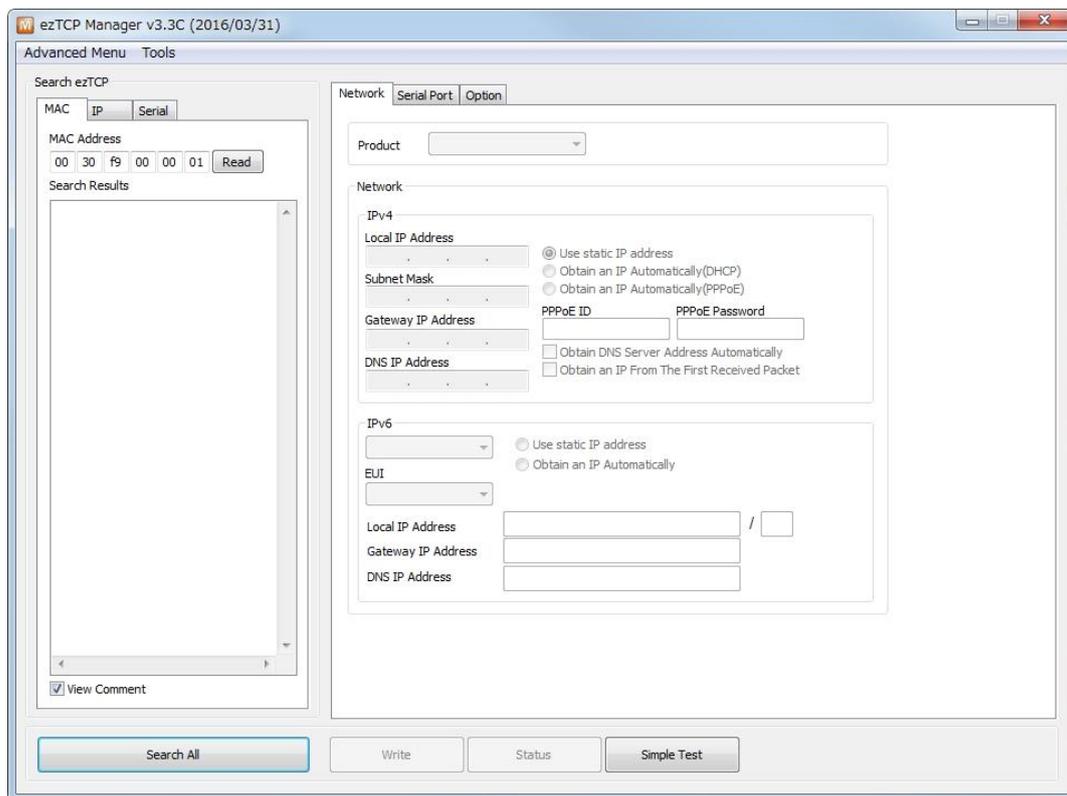


ezTCP シリーズコンフィギュレータソフト

# ezManager

## 取り扱い説明書

5 版



## ご使用になる前に

このたびは ezTCP シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品をお役立て頂くために、このマニュアルを十分お読みいただき、正しくお使い下さい。  
今後共、弊社製品をご愛顧賜りますよう宜しくお願いいたします。

## 対応製品

本マニュアルは、下記の ezTCP 製品に対応しています。

ezManager 対応の ezTCP 製品		
CSE-H55N2	CSE-M53N	CSE-H53N
CIE-H10	CIE-H14	CSW-H85K

■本製品の内容及び仕様は予告なしに変更されることがありますので、ご了承ください。

## 取り扱い上の注意



- 本製品には、民生用の一般電子部品が使用されており、一般的な民生用途の電子機器への使用を意図して設計されています。宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置などで人命、事故に関わる用途および多大な物的損害を発生させる恐れのある用途でのご使用はご遠慮ください。
- 極端な高温下や低温下、または振動の激しい環境での使用はご遠慮ください。
- 水中、高湿度、油の多い環境での使用はご遠慮ください。
- 腐食性ガス、可燃性ガス等の環境中での使用はご遠慮ください。
- 基板の表面が水に濡れていたり、金属に接触した状態で電源を投入しないでください。
- 定格を越える電源を加えないでください。

- ノイズの多い環境での動作は保証しかねますのでご了承ください。
- 連続的な振動(車載等)や衝撃が発生する環境下でのご使用は、製品寿命を縮め、故障が発生しやすくなりますのでご注意ください。
- 発煙や発火、異常な発熱があった場合には、すぐに電源を切ってください。
- 本製品を仕様範囲を越える条件において使用した場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本書に記載される製品および技術のうち、「外国為替および外国貿易法」に定める規制貨物等（技術）に該当するものを輸出または国外に持ち出す場合には同法に基づく輸出許可が必要です。
- 本製品マニュアルの著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有しております。これらを無断で転用、掲載、譲渡、配布することは禁止します。

## 保証

- 保証期間内において、本マニュアル等に記載の注意事項に従い正常な使用状態で故障した場合、保証対象といたします。
- 製品保証の内外を問わず、製品を運用した結果による、直接的および間接的損害については、弊社は一切補償いたしません。
- 保証対象は、製品本体とします。ソフトウェア・マニュアル・消耗品・梱包箱は保証対象外とさせていただきます。
- 本保証は日本国内においてのみ有効です。海外からのご依頼は受付しておりません。
- 製品保証規定の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

## ソフトウェアについて

---

ソフトウェアの著作権は SollaeSystems 社が保有しています。

ソフトウェアに関するライセンス、保証、免責事項については、各製品のマニュアルをご覧ください。

## 目 次

<b>1. 概要</b>	<b>1</b>
1.1 概要 .....	1
1.2 動作条件 .....	1
1.3 シリアルケーブル .....	1
<b>2. 機能</b>	<b>2</b>
2.1 基本画面構成 .....	2
2.2 検索エリア操作 .....	3
2.3 ボタンエリア操作 .....	10
2.4 メニューエリア操作 .....	14
2.5 機能設定エリア操作 .....	24

# 1. 概要

## 1.1 概要

ezManager は、ezTCP 製品の IP アドレスや各種動作条件を設定するためのコンフィグレータソフトです。

ezManager がインストールされている PC から、LAN またはシリアルポートで繋がっている ezTCP 製品の設定を変更することができます。

ezManager は、CSE-M32、CSE-M53N、CSE-H53N、CIE-H10、CIE-H14、CSW-H85K で使用することができます。その他弊社取り扱い ezTCP 製品では、ezCONFIG(有線 LAN タイプ)または ezSerialConfig(無線 LAN タイプ)を使用してください。

## 1.2 動作条件

動作環境について

環境	必要条件
パーソナルコンピュータ	Ethernet インタフェースもしくはシリアルインタフェースを最低 1ch 備えた PC/AT 互換機
OS	Windows 7/8/8.1/10/11
ハードディスク	1MByte 以上の空き容量

Table 1.2-1 動作環境

## 1.3 シリアルケーブル

シリアルケーブル経由で ezTCP 本体の設定を変更する場合には、次の結線の RS232 ケーブル(クロスケーブル)を使用して接続します。

製品添付のシリアルケーブルは、この結線になっています。 \*1

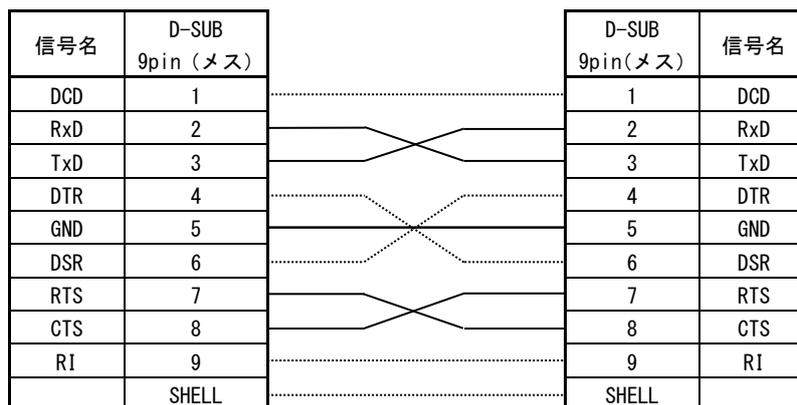


Fig 1.3-1 ケーブル結線 (クロスケーブル)

点線部は結線されていなくても構いません。

\*1 CSE-M32、CSE-M53N にはシリアルケーブルは添付されていません。

## 2. 機能

### 2.1 基本画面構成

ezManager の基本画面は「メニューエリア」「検索エリア」「機能設定エリア」「ボタンエリア」の4つで構成されます。

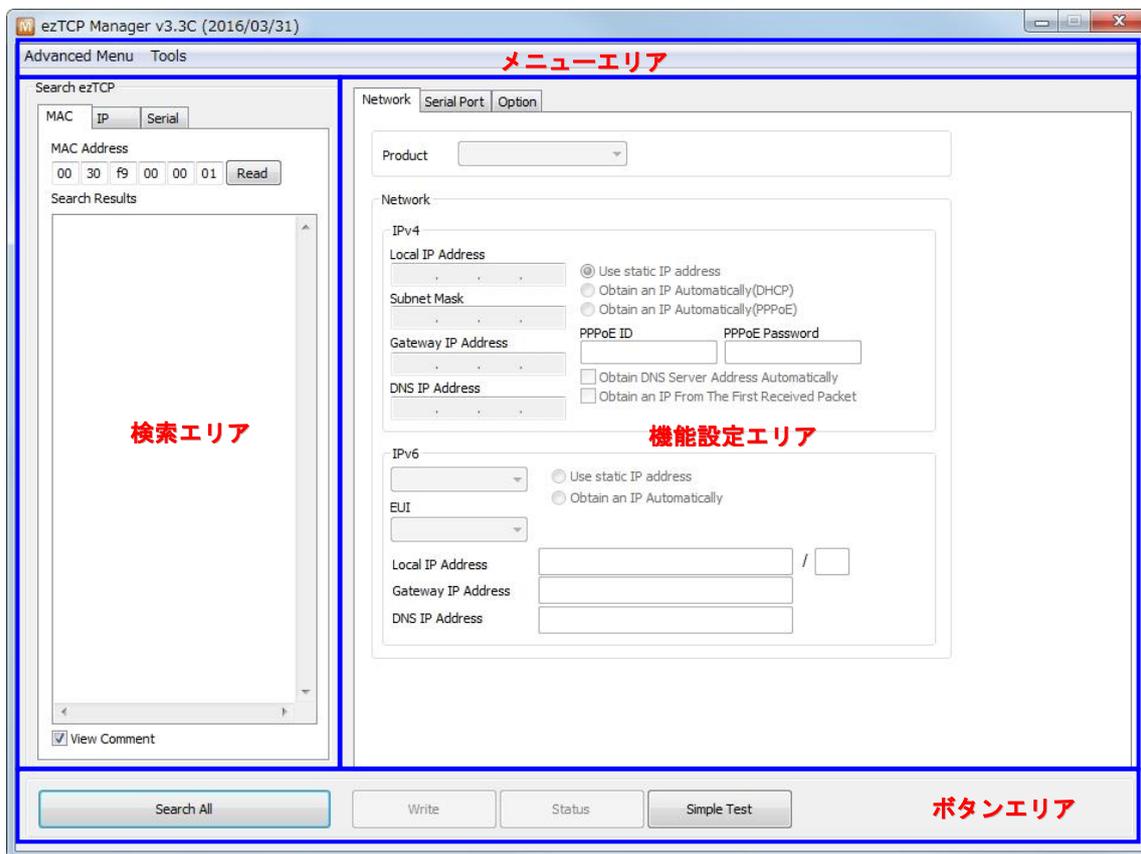


Fig 2.1-1 ezManager 基本画面構成

構成名	説明
検索エリア	ezTCP 製品の検索を行うエリアです。 PC から ezManager を使用して ezTCP 製品を検索する方法の選択と検索した結果が表示されます。
機能設定エリア	ezTCP 製品の機能設定の表示と設定を行うエリアです。 製品の機能により、このエリアの表示は変化します。
ボタンエリア	製品の検索、設定の書き込み、簡易テスト等のボタンが配置されたエリアです。 該当のボタンを押すことで、これらの機能が実行されます。
メニューエリア	高度な機能を行う [Advanced Menu] メニューとツール機能を行う [Tools] メニューが配置されたエリアです。

Table 2.1-1 構成名と説明

## 2.2 検索エリア操作

検索エリアでは、設定を行う ezTCP 製品の検索方法の選択と検索結果が表示されます。

ezManager で ezTCP 製品の検索を行う方法は、使用インタフェースの種類と検索方式から「MAC」「IP」「Serial」の 3 種類があります。選択は Search ezTCP 欄の「MAC」「IP」「Serial」の各タブを選択することで行います。



Fig 2.2-1 ezManager 検索方法選択

それぞれのタブと使用インタフェース、説明は次のような対応になります。

タブ名	使用インタフェース	説明
MAC	Ethernet インタフェース	本体の MAC アドレスを元に、UDP ブロードキャスト通信を使って検索と設定を行います ezManager を実行する PC と異なる IP アドレス環境に設定された本体でも、同一セグメント内に接続されていれば、本体の検出と設定を行うことができます ブロードキャスト通信は異なるセグメントには届きませんので、異なる LAN や WAN に設置された本体に対しては使用できません、このような場合には「IP」を使用します
IP		本体の IP アドレスを元に、UDP ユニキャスト通信を使って設定を行います ezManager を実行する PC と IP アドレスベースで通信が可能な環境にある本体であれば、異なる LAN や WAN に接続されていても設定を行うことができます *1 MAC と異なり、本体の検出を行うことはできません
Serial	シリアル インタフェース	シリアルケーブル経由で本体の設定を行います ezManager を実行する PC の COM ポートと本体をシリアルケーブルで接続します この際に、本体はシリアル設定モードにする必要があります *2

Table 2.2-1 各タブの使用インタフェースと詳細説明

\*1 異なる LAN や WAN の場合、ルータ等のレイヤ 3 スイッチを使用してルーティング可能にする必要があります。

\*2 本体をシリアル設定モードにするには、ISP 端子に 20~1000msec の Low パルスを入力するか、ISP スイッチを 20~1000msec の間押下する必要があります。

「MAC」、「IP」は Ethernet 経由で検索及び設定を行い、「Serial」はシリアル経由で検索及び設定を行います。

「Serial」選択時のシリアルケーブルの詳細については「1.3 シリアルケーブル」をご覧ください。

## 2.2.1 MAC アドレスベースでの検索

検索方法で MAC アドレスベースでの検索方法である「MAC」を選択した際の操作方法を解説します。

「MAC」では UDP のブロードキャスト通信を使って本体の検索と設定を行います。

MAC アドレスをベースに検索と設定を行いますので、本体に設定された IP アドレスがわからないときに有効です。

しかしながら、ブロードキャスト通信を使用していますので同じセグメント内の本体が対象になります。

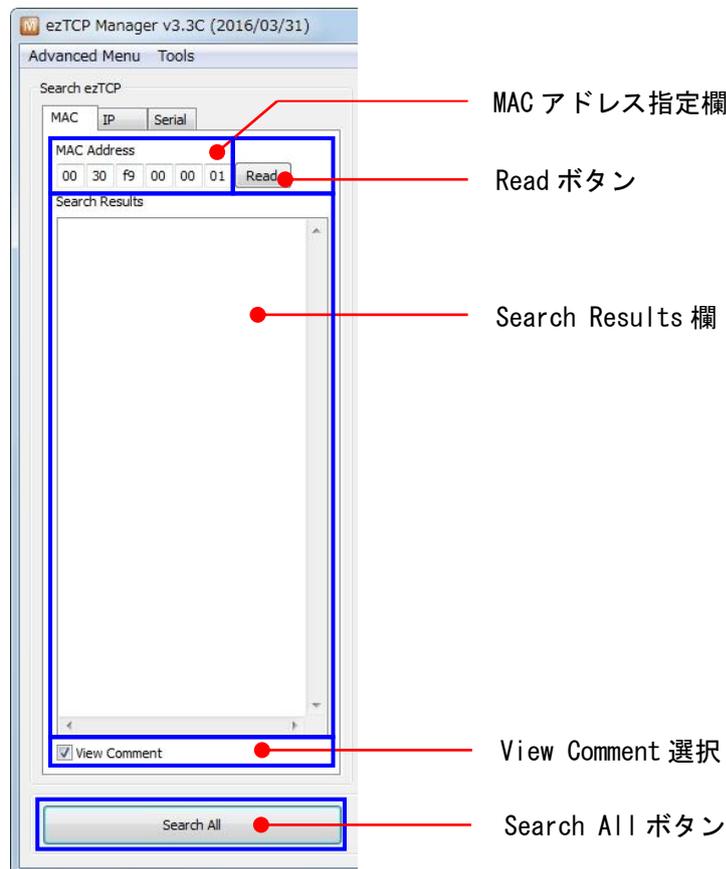


Fig 2.2-2 ezManager MAC 選択時の操作

表示／操作項目	内容
MAC アドレス指定欄	本体の MAC アドレスが判明している場合には、この欄に直接 MAC アドレスを設定して右の Read ボタンを選択することで、該当の ezTCP 製品の設定値が読み出されます
Read ボタン	本体の MAC アドレスが判明している場合には、左の欄に直接 MAC アドレスを設定して本ボタンを押すことで、該当の ezTCP 製品の設定値が読み出されます
Search Results 欄	Read ボタンを押した際には該当の ezTCP 機器、Search All ボタンを押した際には LAN 上に存在する ezTCP 機器がこの欄にリスト表示されます 複数表示されている場合には、この欄内で操作対象機器を直接選択します
View Comment 選択	Search Results 欄に設定されたコメントを表示するか選択します、チェックで表示
Search All ボタン	LAN 上の ezTCP 製品を全て検索し、Search Results 欄にリスト表示します このとき同時に設定値も読み出されます

Table 2.2-2 ezManager MAC 選択時の表示操作項目とその内容

### MAC アドレスベースの操作例

①PC と本体を LAN で接続し、電源を投入します。

↓

②ezManager (ezManager.exe) を実行します。

↓

③ezManager の画面上の Search ezTCP 欄の MAC タブを選択します。

↓

④「Search All」ボタンをクリックします。

↓

⑤アクセス可能な本体の MAC アドレス一覧が Search Results に表示されますので、該当する本体の MAC アドレスをクリックして選択します

↓

⑥選択された本体の設定が機能設定エリアに反映されます。設定変更したい項目の値を変更します。

↓

⑦「Write」ボタンをクリックします。これで設定内容が本体の EEPROM 領域に書き込まれ、設定が変更されます。

↓

⑧新しい設定で動作を確認します。

## 2.2.2 IP アドレスベースでの検索

検索方法で IP アドレスベースでの検索方法である「IP」を選択した際の操作方法を解説します。

「IP」では UDP のユニキャスト通信を使って本体の検索と設定を行います。

MAC と違って本体の検索はできませんが、セグメントを越えた本体の設定変更が可能です。

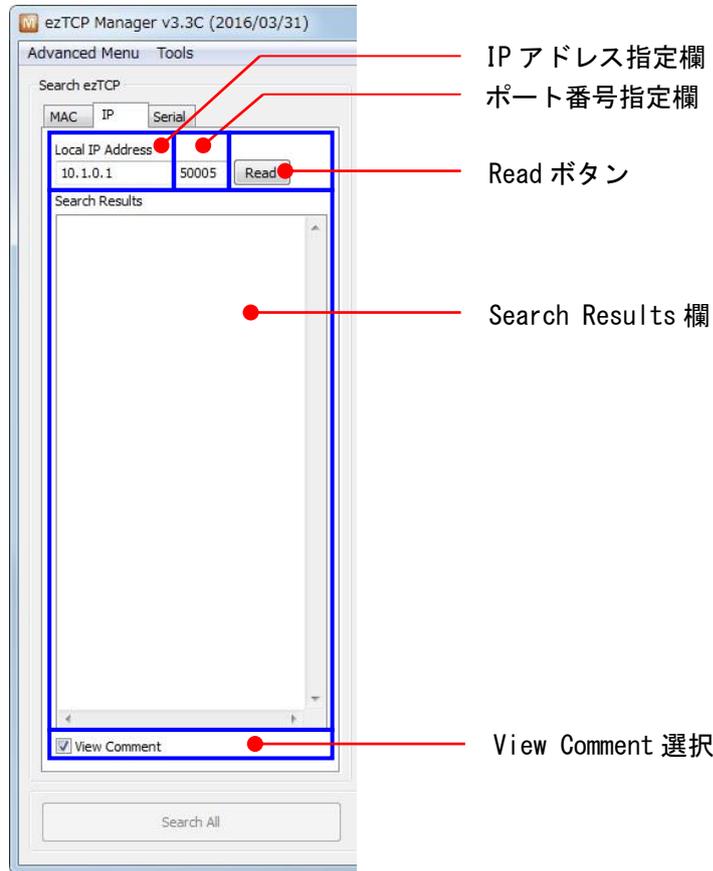


Fig 2.2-3 ezManager IP 選択時の操作

表示／操作項目	内容
IP アドレス指定欄	本体の IP アドレスを設定して右の Read ボタンを選択することで、該当の ezTCP 製品の設定値が読み出されます
ポート番号指定欄	UDP ユニキャスト通信に使用するポート番号を設定します 通常初期値の「50005」以外には変更しないでください
Read ボタン	左の欄に本体の IP アドレスを設定して本ボタンを押すことで、該当の ezTCP 製品の設定値が読み出されます
Search Results 欄	Read ボタンを押した際に該当の ezTCP 機器がこの欄にリスト表示されます
View Comment 選択	Search Results 欄に設定されたコメントを表示するか選択します、チェックで表示

Table 2.2-3 ezManager IP 選択時の表示操作項目とその内容

### IP アドレスベースの操作例

①PC と本体を LAN で接続し、電源を投入します。

↓

②ezManager (ezManager.exe) を実行します。

↓

③ezManager の画面上の Search ezTCP 欄の IP タブを選択します。

↓

④Search ezTCP 欄の「Local IP Address」に設定変更を行う本体の IP アドレスを設定し、「Read」ボタンをクリックします。

↓

⑤接続可能な場合には、Search Results に本体の IP アドレスが表示され、設定が機能設定エリアに反映されます。

IP アドレスが表示されない場合には、Local IP Address に設定した値が正しいか確認してください。

↓

⑥設定変更したい項目の値を変更します。

↓

⑦「Write」ボタンをクリックします。これで設定内容が本体の EEPROM 領域に書き込まれ、設定が変更されます。

↓

⑧新しい設定で動作を確認します。

### 2.2.3 Serial インタフェースでの設定

検索方法でシリアルケーブル経由での設定方法である「Serial」を選択した際の操作方法を解説します。

「Serial」ではPCと本体のシリアルインタフェースを使用して設定を行います。

この時、シリアルポートの通信条件は、ボーレート:115200bps、データ長:8ビット、ストップビット:1ビット、パリティ:無しに自動的に設定されます。

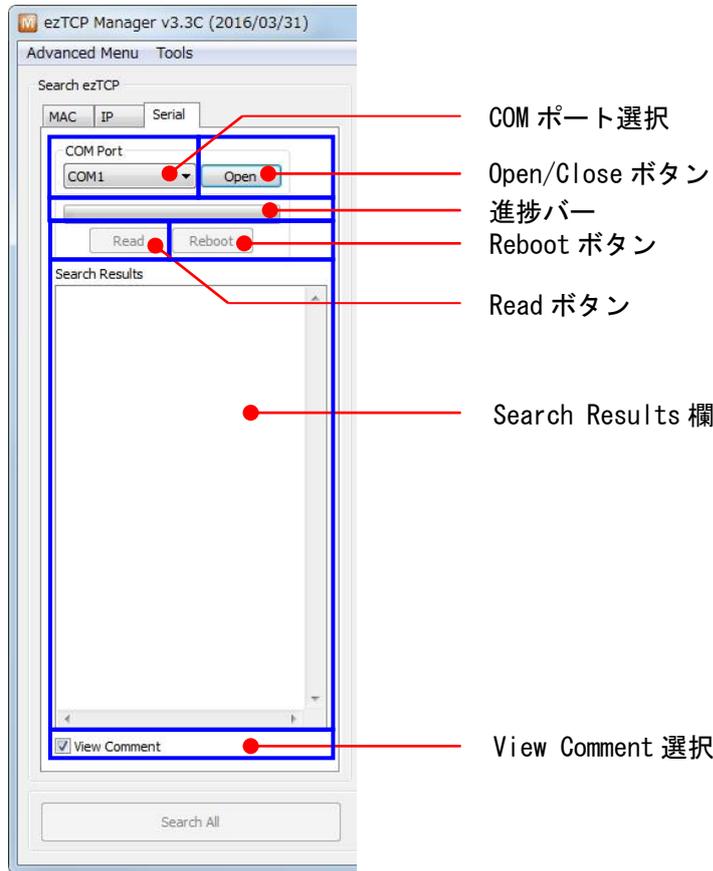


Fig 2.2-4 ezManager Serial 選択時の操作

表示／操作項目	内容
COMポート選択	シリアルケーブルを接続するPCのCOMポートを選択します
Open/Closeボタン	選択したCOMポートをOpenして設定の読み出しや変更を行います、COMポートがオープンできると本ボタンはCloseボタンに変化します
Readボタン	ezTCP製品の設定値が読み出されます
進捗バー	読み出し中への進捗度合いが表示
Rebootボタン	本体を再起動します
Search Results欄	読み出されたezTCP機器がこの欄にリスト表示されます
View Comment選択	Search Results欄に設定されたコメントを表示するか選択します、チェックで表示

Table 2.2-4 ezManager Serial 選択時の表示操作項目とその内容

### Serial インタフェース設定の操作例

- ①PC と本体を RS232 ケーブルで接続し、電源を投入します。  
↓
- ②ezManager (ezManager.exe) を実行します。  
↓
- ③ezManager の画面上の Search ezTCP 欄の Serial タブを選択します。  
↓
- ④Search ezTCP 欄の「COM Port」で RS232 ケーブルを接続した PC の COM ポートを選択し、「Open」ボタンをクリックします。  
↓
- ⑤「Open」ボタンが「Close」に変化した後、「Read」ボタンをクリックします。  
↓
- ⑥本体の設定が読み込まれると、Search Results に本体の MAC アドレスが表示され、設定が機能設定エリアに反映されます。  
MAC アドレスが表示されない場合には、本体との通信に失敗しています。  
選択した COM ポートが正しいか確認してください。  
↓
- ⑦設定変更したい項目の値を変更します。  
↓
- ⑧「Write」ボタンをクリックします。これで設定内容が本体の EEPROM 領域に書き込まれ、設定が変更されます。  
↓
- ⑨電源の再投入後、新しい設定で動作を確認します。

## 2.3 ボタンエリア操作

ボタンエリアでは、製品の検索、設定の書き込み、簡易テスト等の基本的な機能を行います。



Fig 2.3-1 ezManager ボタンエリア

各ボタンと機能概要は次のようになります。

ボタン名	機能概要
Search All	MAC アドレスベースの検索選択時に、セグメント上の全 ezTCP 製品を検索します
Write	機能設定エリアで設定した設定値を書き込みます
Status	該当の ezTCP 本体の状況など、内部状態を表示します
Simple Test	イーサネット通信とシリアル通信の簡易通信を行います

Table 2.3-1 各ボタンと機能概要

### 2.3.1 Search All ボタン機能

MAC アドレスベースの検索選択時に、セグメント上の全 ezTCP 製品を検索します

検索結果は検索エリアの Search Results 欄にリスト表示されます。

### 2.3.2 Write ボタン機能

機能設定エリアで設定した設定値を書き込みます

このボタンを押すことで、設定値が本体内の不揮発性メモリに格納されます。

### 2.3.3 Status ボタン機能

該当の ezTCP 本体の状況など、内部状態を表示します。

下図は CSW-H85K に対して Status ボタンを押した時のダイアログになります。

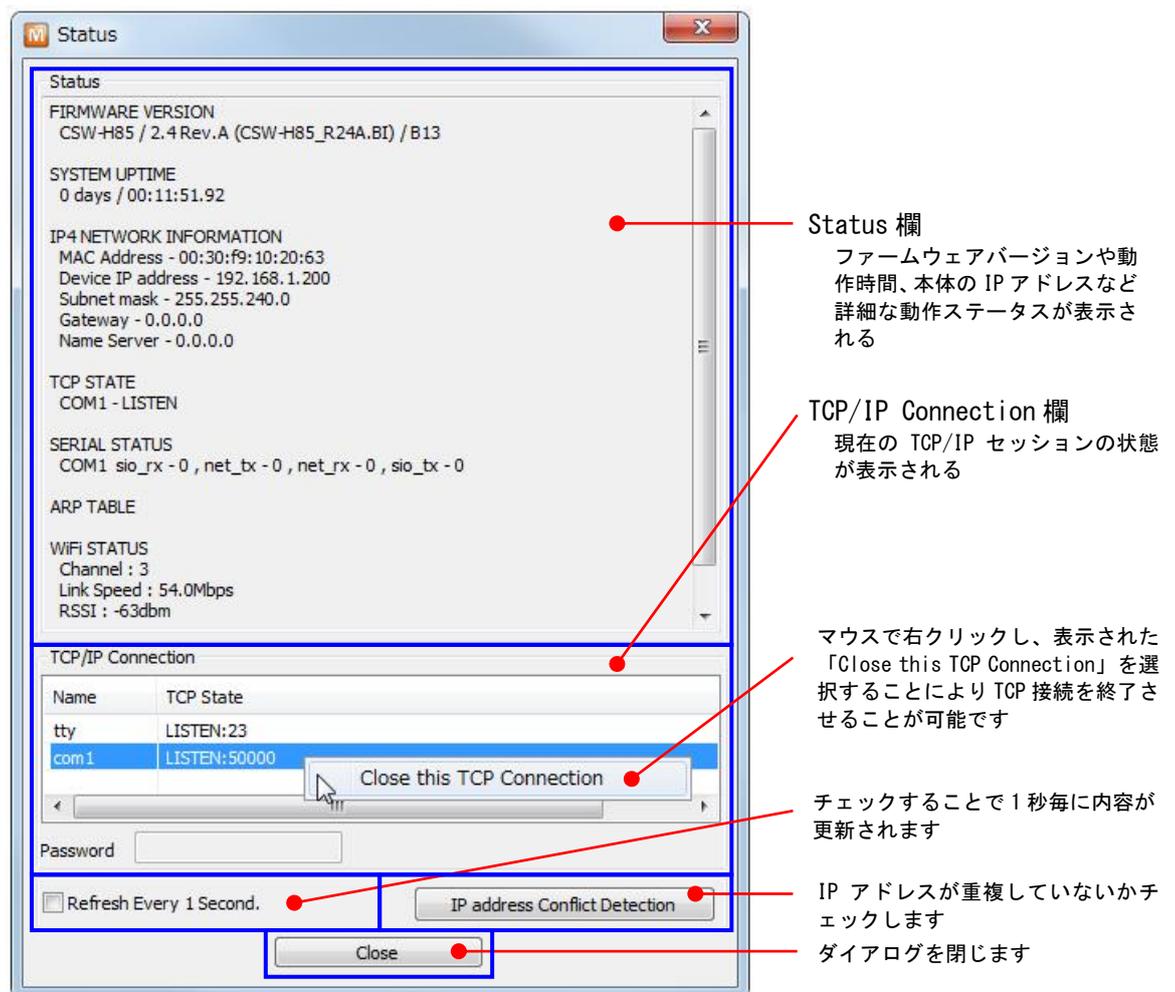


Fig 2.3-2 ezManager Status ダイアログ

### 2.3.4 Simple Test ボタン機能

イーサネット通信とシリアル通信の簡易通信を行います。

ezManager には、イーサネット通信とシリアル通信をサポートした簡易ターミナル機能が搭載されており、ezTCP 製品の通信テストツールとして利用します。

下図は Simple Test ボタンを押した時に表示されるダイアログになります。

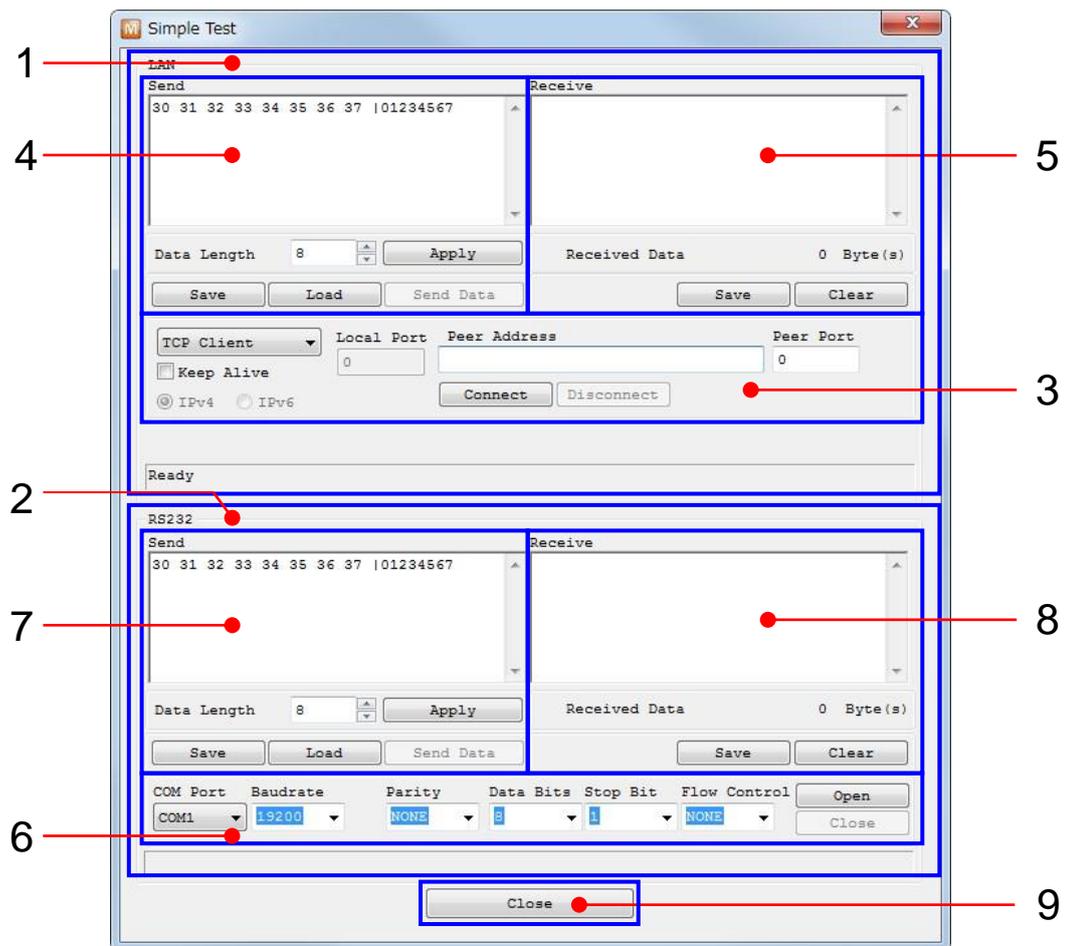


Fig 2.3-3 Simple Test ダイアログ

各表示エリアとボタンは次のようになります。

表示／操作項目	内容
1. LAN	ソケット通信の簡易ターミナルエリアになります
2. RS232	シリアル通信の簡易ターミナルエリアになります

表示／操作項目	内容	
3. ソケット通信設定	ソケット通信の通信条件を設定します	
	プルダウンメニュー	動作モードを TCP Client, TCP Server, UDP の中から選択します
	Local Port	TCP Server : 待ち受けポート番号を指定します UDP : バインドポート番号を指定します
	Peer IP Address	TCP Client : 接続先 IP アドレスを指定します UDP : 送信先 IP アドレスを指定します
	Peer Port	TCP Client : 接続先ポート番号を指定します UDP : 送信先ポート番号を指定します
	Keep Alive	TCP Server, TCP Client 動作の時に Keep Alive パケットを送出します
	Connect/Listen	TCP Server : 接続待ち状態にします TCP Client : 接続動作を行います UDP : 設定した IP アドレスとポートを開きます
	Disconnect	TCP Server, TCP Client : 接続を切断します UDP : 設定した IP アドレスとポートを閉じます
4. Send 7. Send	送信に関する操作を行います	
	Send	送信データを 16 進 (左側) または ASCII (右側) で入力します Send Data ボタンをクリックするまでデータは送信されません
	Data Length	送信データサイズをバイト数で設定します Apply ボタンが押されると、この設定値に変更されます
	Apply	Data Length で指定された送信データサイズを設定します
	Save	送信データを BIN 形式ファイルで保存します
	Load	BIN 形式ファイルを読み込み、送信データとします
	Send Data	送信データに入力されたデータを送信します
5. Receive 8. Receive	受信に関する操作を行います	
	Receive	受信したデータが表示されます
	Save	受信データを BIN 形式ファイルで保存します
	Clear	受信データ表示をクリアします
6. シリアル通信設定	シリアル通信の通信条件を設定します	
	COM Port	使用する COM ポートを指定します
	Baudrate	ボーレートを 110, 300, 600, 1200, 2400, 4800, 9600, 14400, 19200, 38400, 57600, 115200 から選択します
	Parity	パリティの使用を none, even, odd から選択します
	Data Bits	データ長を 7bit, 8bit から選択します
	Stop Bit	ストップビット長を 1bit, 2bit から選択します
	Flow Control	フロー制御を none, Xon/Xoff, Hardware (RTS/CTS) から選択します
	Close	COM ポートをクローズします
9. Close	Simple Test を終了します	

Table 2.3-2 Simple Test ダイアログのエリアとボタン

## 2.4 メニューエリア操作

メニューエリアでは、ファームウェアの更新等の高度な機能や ping テスト等のツール機能を行います。  
高度な機能は[Advanced Menu]メニュー、ツール機能は[Tools]メニューにあります。

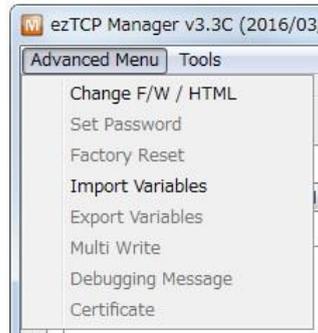


Fig 2.4-1 ezManager メニュー(Advanced Menu)

[Advanced Menu]メニューの各項目と機能概要は次のようになります。  
該当機能を持たない ezTCP 製品では、項目が選択できない状態になります。

項目名	機能概要
Change F/W / HTML	本体ファームウェアまたは本体内の HTML ファイルを更新します
Set Password	ezManager での設定変更にパスワード認証を追加します
Factory Reset	各設定値を sollae 社または弊社出荷時の設定値に初期化します どちらの出荷時設定値に初期化されるかは、各製品のマニュアルをご覧ください
Import Variables	設定値をファイルから読み込みます、ファイルの拡張子は .ezm です
Export Variables	設定値をファイルに出力します、ファイルの拡張子は .ezm です
Multi Write	Search Results で選択した複数の本体に同一の設定値を書き込みます
Debugging Message	ezTCP 本体のデバック情報を表示します
Certificate	SSL や無線 LAN の WPA エンタープライズで使用する証明書の処理を行います

Table 2.4-1 Advanced Menu の各項目と機能概要



Fig 2.4-2 ezManager メニュー(Tools)

[Tools]メニューの各項目と機能概要は次のようになります。

該当機能を持たない ezTCP 製品では、項目が選択できない状態になります。

項目名	機能概要
PING / ARP	ezManager を実行している PC から ping テストの実行と、その PC の ARP テーブルを表示します
Windows Firewall	ezManager を実行している PC の Windows Firewall 設定を表示します
Select binding IP	ezManager で使用するネットワークインタフェースを選択します
Modbus/TCP	Modbus/TCP 機能のテストを行います

Table 2.4-2 Tools の各項目と機能概要

### 2.4.1 Change F/W / HTML 機能

本体ファームウェアまたは本体内の HTML ファイルを更新します。

ファームウェア更新の詳細については、各製品のマニュアルかアプリケーションノートをご覧ください。

下図は使用インタフェースを Ethernet インタフェースに設定している状態で Change F/W / HTML を選択した時に表示されるダイアログになります。

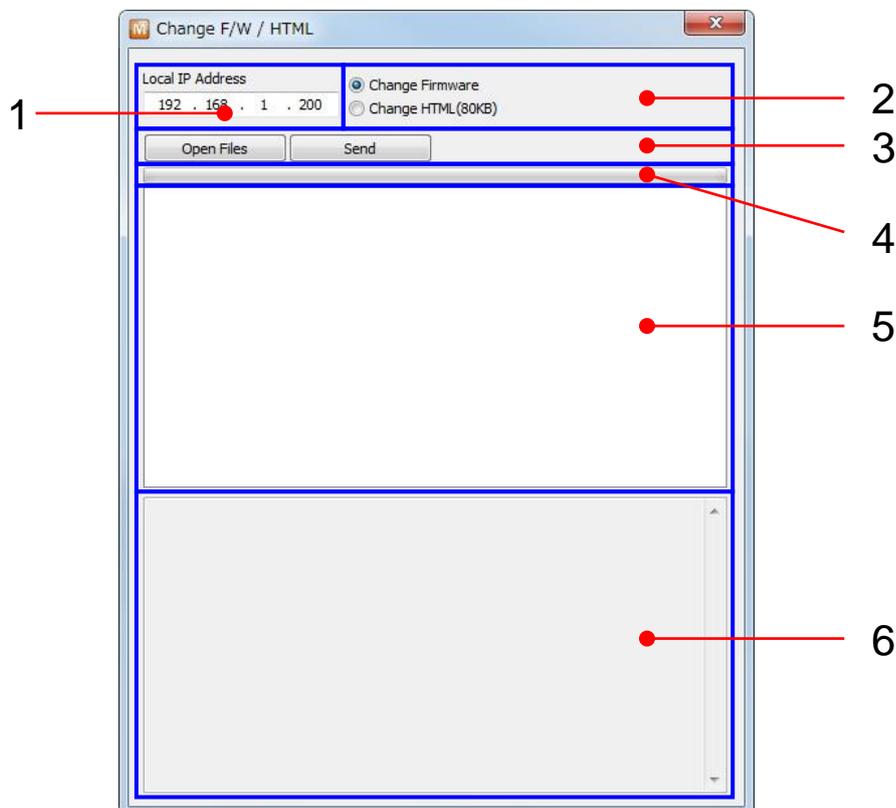


Fig 2.4-3 Change F/W / HTML ダイアログ (Ethernet インタフェース)

表示／操作項目	内容	
1. Local IP Address	ファームウェア更新または HTML ファイルを更新する本体の IP アドレスを指定します	
2. 更新種類の選択	Change Firmware	ファームウェアを更新する場合、選択します
	Change HTML	HTML ファイルを更新する場合、選択します
3. 操作ボタン	Open Files	更新するファームウェアまたは HTML ファイルを指定します ボタンを押すことでファイル選択ダイアログが開きます
	Send	選択したファームウェアまたは HTML ファイルを送信し、更新を行います
4. 進捗バー	ファイル送信の進捗がバー表示されます	
5. ファイル一覧表示	「Open Files」ボタンでオープンしたファイルが一覧で表示されます	
6. 結果表示	通信内容と結果が表示されます	

Table 2.4-3 Change F/W / HTML ダイアログのエリアとボタン (Ethernet インタフェース)

下図は使用インタフェースをシリアルインタフェースに設定している状態で Change F/W を選択した時に表示されるダイアログになります。

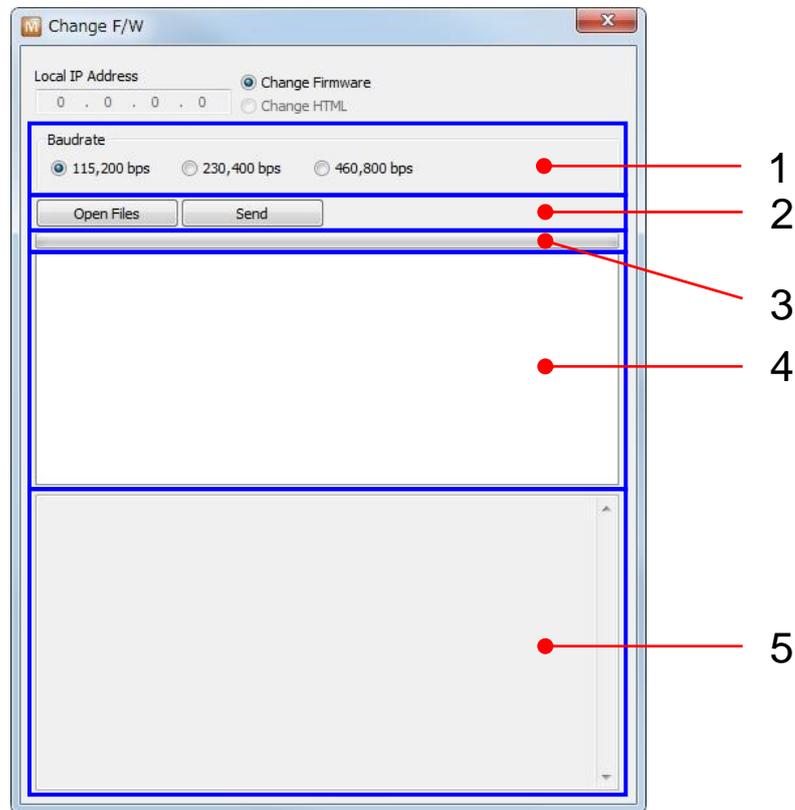


Fig 2.4-4 Change F/W ダイアログ (シリアルインタフェース)

表示／操作項目	内容	
1. ボーレート選択	シリアルインタフェースで更新を行う際のボーレートを選択します 選択可能なボーレートについては各製品マニュアルをご覧ください	
2. 操作ボタン	Open Files	更新するファームウェアを指定します ボタンを押すことでファイル選択ダイアログが開きます
	Send	選択したファームウェアを送信し、更新を行います
3. 進捗バー	ファイル送信の進捗がバー表示されます	
4. ファイル一覧表示	「Open Files」ボタンでオープンしたファイルが一覧で表示されます	
5. 結果表示	通信内容と結果が表示されます	

Table 2.4-4 Change F/W ダイアログのエリアとボタン (シリアルインタフェース)

## 2.4.2 Set Password 機能

ezManager での設定変更パスワード認証を追加します。

パスワード認証は、本体の設定変更に関するセキュリティ設定のひとつで、不正な設定変更を防ぐことが可能になります。このパスワードは Telnet ログイン機能を持つ本体の Telnet パスワードにも適用されます。

下図は Set Password を選択した時に表示されるダイアログで、この中でパスワードの設定とクリアを行います。



Fig 2.4-5 Set Password ダイアログ

シリアル設定モード動作時には、パスワード認証動作は無効になります。

登録したパスワードを紛失した場合は、シリアル設定モードで動作させ、パスワードの再登録やクリアを行ってください。

## 2.4.3 Factory Reset 機能

各設定値を sollae 社の出荷時設定値に初期化します。

製品によってはこのメニュー項目以外の方法で初期化を行うものがあります。詳しくは、各製品のマニュアルをご覧ください。

## 2.4.4 Import Variables 機能

設定値をファイルから読み込みます。

「2.4.5 Export Variables」で保存された設定値ファイル(拡張子は. ezm)を読み込みます。読み込んだ後に本体に設定を反映するには「Write」ボタンを押してください。

## 2.4.5 Export Variables 機能

設定値をファイルに出力します、ファイルの拡張子は. ezm です。

現在の設定値をファイルに保存したい時に使用します。

## 2.4.6 Multi Write 機能

複数の本体に同一の設定値を書き込みます。

下図は Multi Write を選択した時に表示されるダイアログになります。

Search All ボタンを押すと MAC アドレスベースでの検索を実行し、検出された機器が Search Results 欄に一覧表示されます。

No. 欄のチェックボックスで、書き込みを行う本体を選択します。チェックで選択、クリアで非選択です。

Write ボタンを押すことで、選択された機器に現在の選択エリアで設定した設定値を書き込みます。

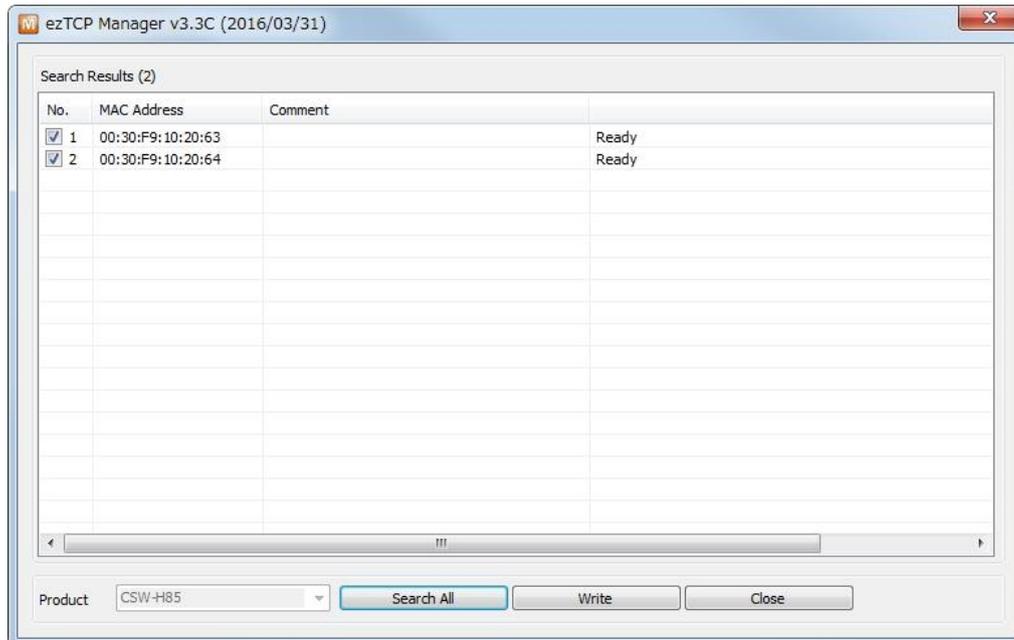


Fig 2.4-6 Multi Write ダイアログ

## 2.4.7 Debugging Message 機能

ezTCP 本体のデバック情報を表示します。

## 2.4.8 Certificate 機能

SSL や無線 LAN の WPA エンタープライズで使用する証明書の処理を行います。

下図は Certificate を選択した時に表示されるダイアログになります。

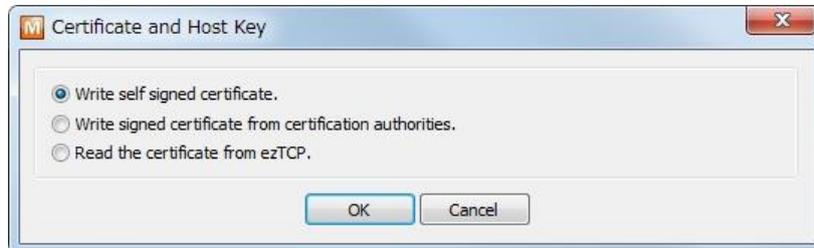


Fig 2.4-7 Certificate ダイアログ

### Write self signed certificate.

自己証明書を作成し、本体に書き込みます。

### Write signed certificate from certification authorities.

証明機関からの署名済み証明書を本体に書き込みます。

### Read the certificate from ezTCP.

本体に書き込まれている証明書を読み出して表示します。

## 2.4.9 PING / ARP 機能

ezManager を実行している PC から ping テストの実行と、その PC の ARP テーブルを表示します。

下図は PING / ARP を選択した時に表示されるダイアログになります。

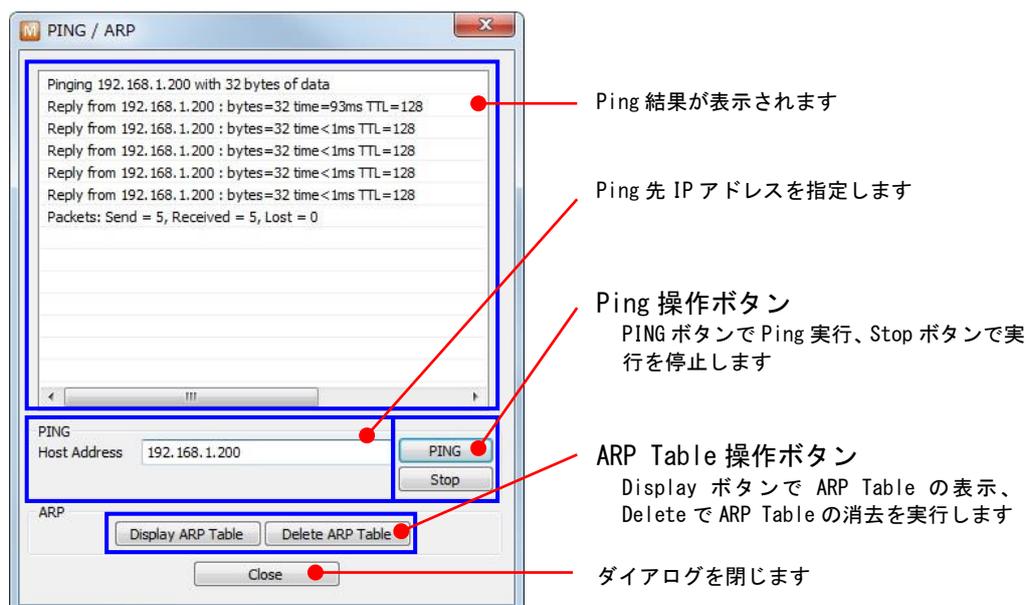


Fig 2.4-8 PING / ARP ダイアログ

## 2.4.10 Windows Firewall 機能

ezManager を実行している PC の Windows Firewall 設定を表示します。

メニューから選択することで Windows Firewall 設定ダイアログが表示されます。

イーサネット通信が禁止されているような場合には、このダイアログにて通信を許可するように設定を変更します。

Windows Firewall 設定の詳細については、OS の機能になりますので Microsoft にお問い合わせください。

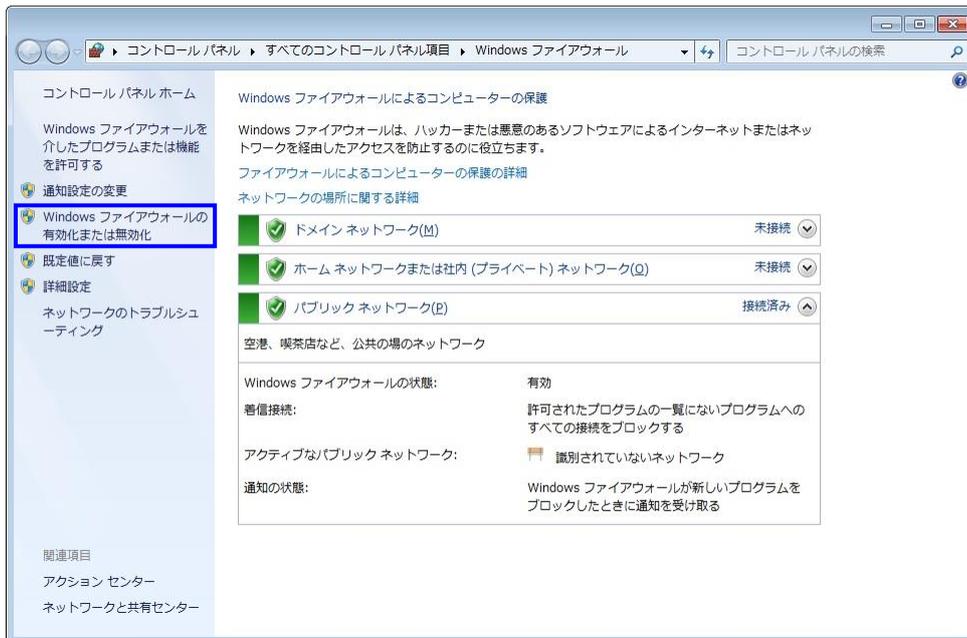


Fig 2.4-9 Windows Firewall ダイアログ(Windows 7)



Fig 2.4-10 Windows Firewall 設定のカスタマイズダイアログ(Windows 7)

### 2.4.11 Select binding IP 機能

ezManager で使用するネットワークインタフェースを選択します。

複数のネットワークカードが PC に装備されているなど、イーサネット通信先が複数存在する場合には本機能で通信先を選択します。

MAC アドレスベースの検索を行う時には UDP のブロードキャスト通信(宛先 IP アドレス 255.255.255.255)を使用することから、イーサネット通信先が複数存在する場合に正しく検索を行うことができません。このような場合には通信先のネットワークアダプタを指定して、イーサネット通信先を指示します。

下図は Select binding IP を選択した時に表示されるダイアログになります。

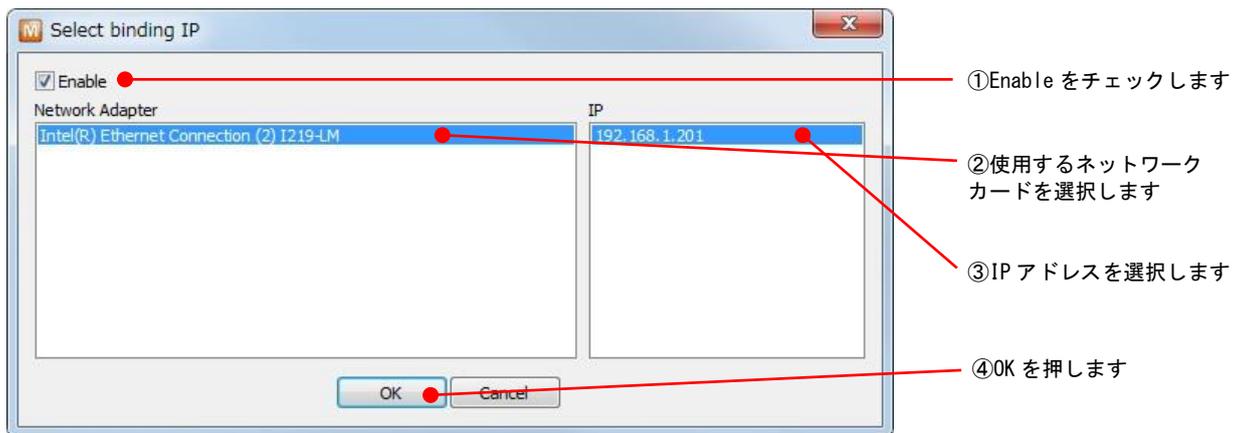


Fig 2.4-11 Select binding IP ダイアログ

## 2.4.12 Modbus/TCP 機能

Modbus/TCP 機能のテストを行います。

CIE-H10 など、I/O ポート機能のある ezTCP 機器の入出力ポートのテストを行うソフトです。  
Modbus/TCP は本体が Slave 設定の時のみ使用できます。

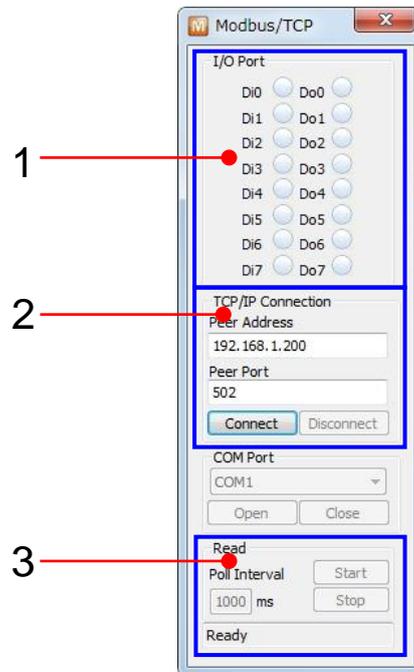


Fig 2.4-12 Modbus/TCP ダイアログ

表示／操作項目	内容		
1. I/O Port	入力ポート	読み込んだ入力ポートの内容を Di0-Di7 に表示します 入力ポート値が ON の時は緑、OFF の時は白で表示されます	
	出力ポート	Do0-Do7 で設定した内容を出力ポートとして送信します 出力ポート値が ON の時は緑、OFF の時は白に設定します	
2. TCP/IP 接続	Connect	該当の機器に接続します	
	Disconnect	該当の機器との接続を切断します	
3. 入出力ポート制御	Poll Interval	入力ポートを読み込む間隔を設定します(単位 : ms)	
	Read	Start	入力ポートの読み込みを開始します
		Stop	入力ポートの読み込みを停止します
	Write	Start	出力ポートの送信を開始します
		Stop	出力ポートの送信を停止します

Table 2.4-5 Modbus/TCP ダイアログのエリアとボタン

## 2.5 機能設定エリア操作

機能設定エリアでは、ezTCP 製品の設定値の表示と変更を行うエリアです。

製品の機能により、このエリアの表示は様々に変化します。

機能毎の設定がタブ形式で分類されていることから、設定の確認や変更の管理が把握しやすくなっています。

現在までにリリースされた ezTCP 製品の機能から「Network」「Serial Port」「IO port」「Wireless LAN」「Option」の5種類のタブが存在します。

### 2.5.1 Network 設定

Network タブではイーサネットインタフェースの IP アドレスなど、Network 環境に関する設定を行います。

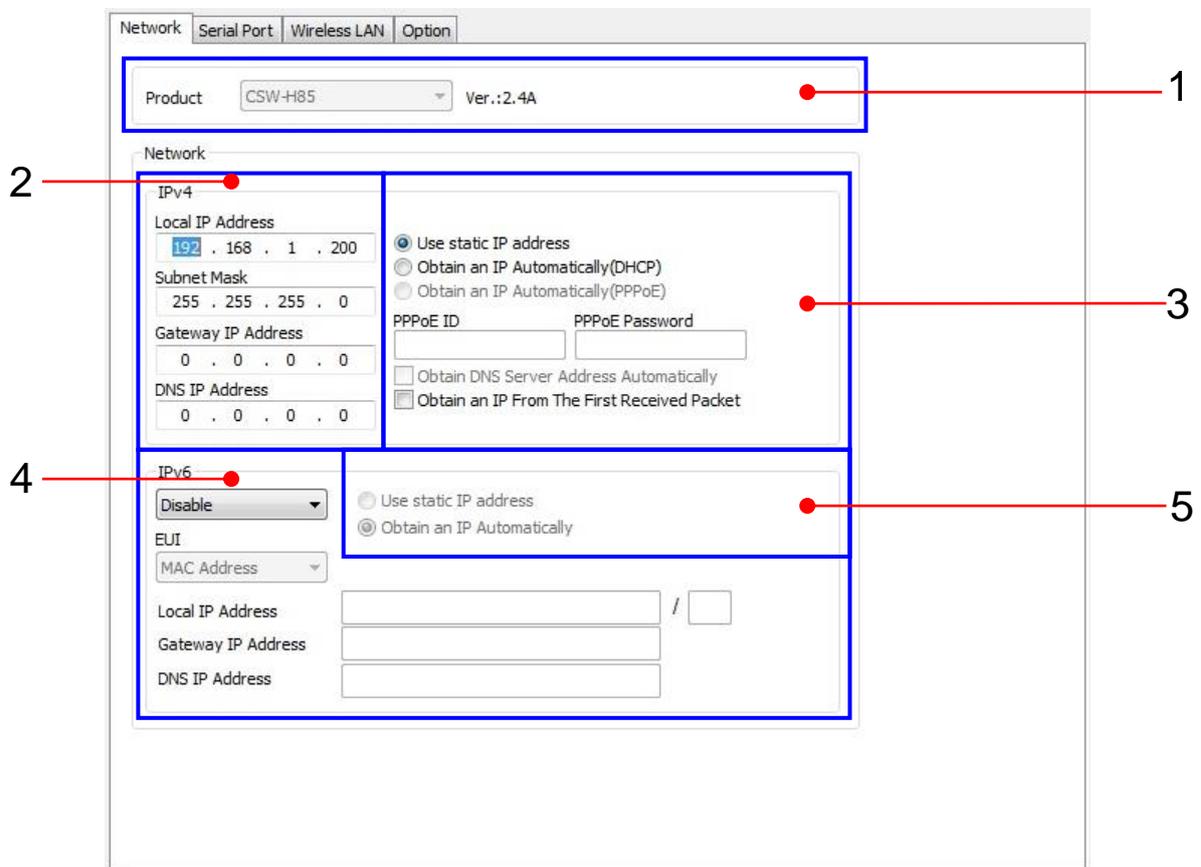


Fig 2.5-1 ezManager 機能設定エリアーNetwork タブ

項目	内容	
1. Product	製品名とファームウェアバージョンが表示されます	
2. IPv4 環境設定	Local IP Address	32bitの論理アドレスを設定します
	Subnet Mask	ネットワーク部とホスト部の区別に使われる32bitのマスク値
	Gateway IP Address	ネットワーク部を越えて通信をする際に使用するゲートウェイのIPアドレス
	DNS IP Address	名前変換に使用するDNSサーバのIPアドレス
3. IPv4 アドレス取得設定	Use static IP Address	固定IPアドレスで決定
	Obtain an IP Automatically(DHCP)	DHCPによる自動割り当てで決定
	Obtain an IP Automatically(PPPoE)	PPPoEによる自動割り当てで決定
	PPPoE ID	PPPoEにて使用されるID
	PPPoE Password	PPPoEにて使用されるPassword
	Obtain DNS Server Address Automatically	IPアドレス自動割り当て時にDNSアドレスも一緒に受けるかを選択 チェックで「自動割り当てを受ける」
	Obtain an IP From The First Received Packet	RARP(Reverse Address Resolution Protocol)によるIPアドレスの設定変更を受けるかを選択 チェックで「変更を受ける」
4. IPv6 環境設定	IPv6 使用設定	IPv6の使用を設定します、Enableで使用、Disableで未使用の設定です
	EUI	リンクローカルアドレスの決定方法 MAC Address : 製品固有のMACアドレスを元に生成 Random : 乱数を元に生成
	Local IP Address	/より左の欄 : 128bitの論理アドレスを設定します /より右の欄 : Prefixの設定(0~128)
	Gateway IP Address	ネットワーク部を越えて通信をする際に使用するゲートウェイのIPアドレス
	DNS IP Address	名前変換に使用するDNSサーバのIPアドレス
5. IPv6 アドレス取得設定	Use static IP Address	固定IPアドレスで決定
	Obtain an IP Automatically	DHCPによる自動割り当てで決定

Table 2.5-1 Network タブ設定詳細

## 2.5.2 Serial Port 設定

Serial Port タブではシリアルインタフェースのボーレートや、そのシリアルポートのイーサネット通信設定など、シリアルポートに関する設定を行います。

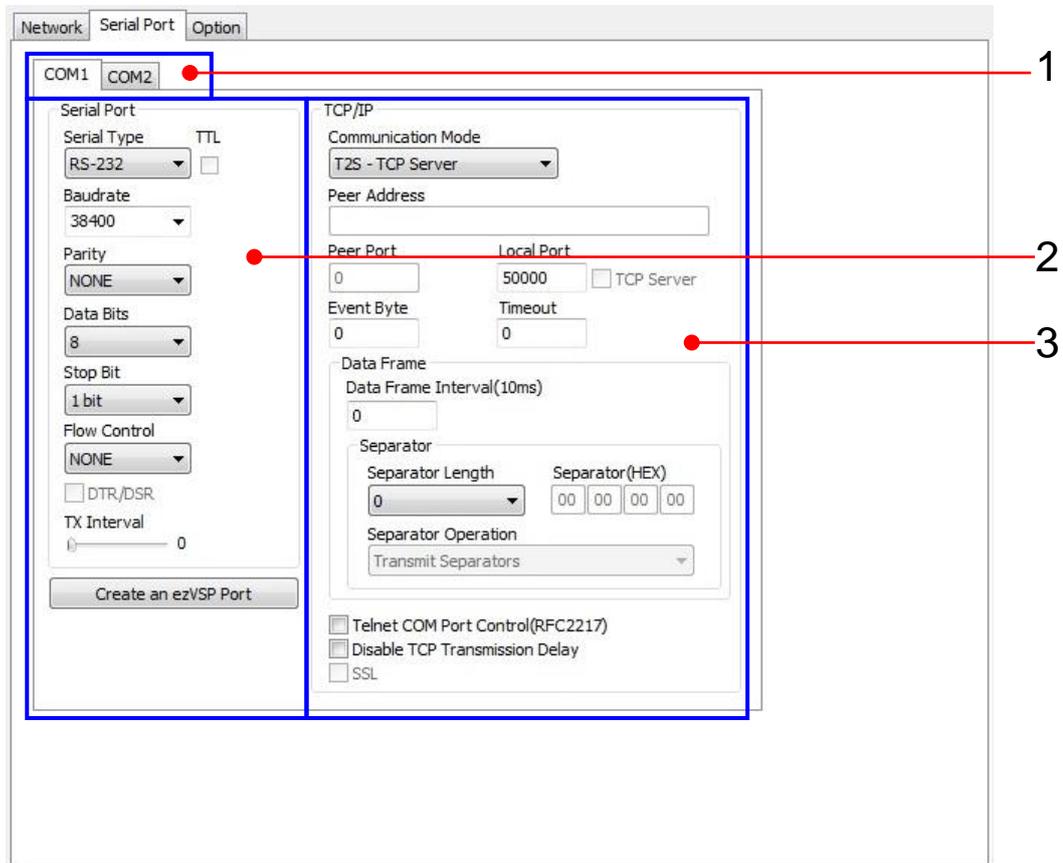


Fig 2.5-2 ezManager 機能設定エリアーSerial Port タブ

項目	内容	
1. COM ポート選択	シリアル通信の設定や動作モードを変更する COM ポートを選択します	
2. シリアル通信 条件設定	Serial Type	シリアルタイプ設定
	Baudrate	ボーレート設定
	Parity	パリティビット設定
	Data Bits	データ長設定
	Stop Bit	ストップビット長設定
	Flow Control	フロー制御設定
	DTR/DSR	DTR/DSR 制御設定 TCP 接続すると本体の DTR 端子が ON になり切断すると OFF になります
	TX Interval	シリアルインタフェースから送信されるデータ間隔のタイミング制御を行います
3. イーサネット通 信設定	Communication MODE	イーサネット通信の動作モードを設定します T2S - TCP Server COD - TCP Client ATC - AT Command U2S - UDP
	Peer Address	接続先 (サーバ) IP アドレスまたはホスト名
	Peer Port	接続先 (サーバ) ポート番号
	Local Port	接続待ちポート番号
	TCP Server	TCP Client 動作時に TCP Server 動作を行います
	Event Byte : TCP Block Size : UDP	TCP Server : セッション確立前のシリアル受信バッファ長の設定 TCP Client : セッション接続要求を行うタイミングに関する設定 UDP : UDP 送信に使用するシリアル受信バッファ長を設定
	Timeout	セッション切断までの時間を設定
	Data Frame Interval	シリアル受信データをフレーム間隔から 1 フレームのデータとして認識させる設定
	Separator Length	シリアル受信データをセパレータ (区切り文字) から 1 フレームのデータとして認識させる設定、セパレータコード長を設定
	Separator (HEX)	フレーム終了のセパレータコードを設定
	Separator Operation	セパレータコード受信後の追加文字列の指示設定
	Telnet COM Port Control (RFC2217)	RFC2217 で定義された Telnet COM Port Control の使用を設定 チェックで RFC2217 を使用する
	Disable TCP Transmisson Del	シリアル受信データを任意のタイミングで TCP 送信する際に、Nagle アルゴリズムに従うか否かを決定する設定 チェックボックスオンで、送信遅延を無効 - Nagle に従わない
Create an ezVSP Port	Sollae 社製仮想 COM ポートソフトウェア「ezVSP」の COM ポート新規作成ダイアログを開きます * ezVSP がインストールされていないとエラーが表示されます	

Table 2.5-2 Serial Port タブ設定詳細

### 2.5.3 IO Port 設定

I/O Port タブでは I/O インタフェースの出力ポート状態など、I/O インタフェースに関する設定を行います。

I/O Port タブ内はさらに「Basic Settings」「I/O Port Option」「I/O Port Comment」の3つに分かれています。

#### Basic Settings

I/O Port タブ内「Basic Settings」タブでは I/O ポートに関する基本設定を行います。

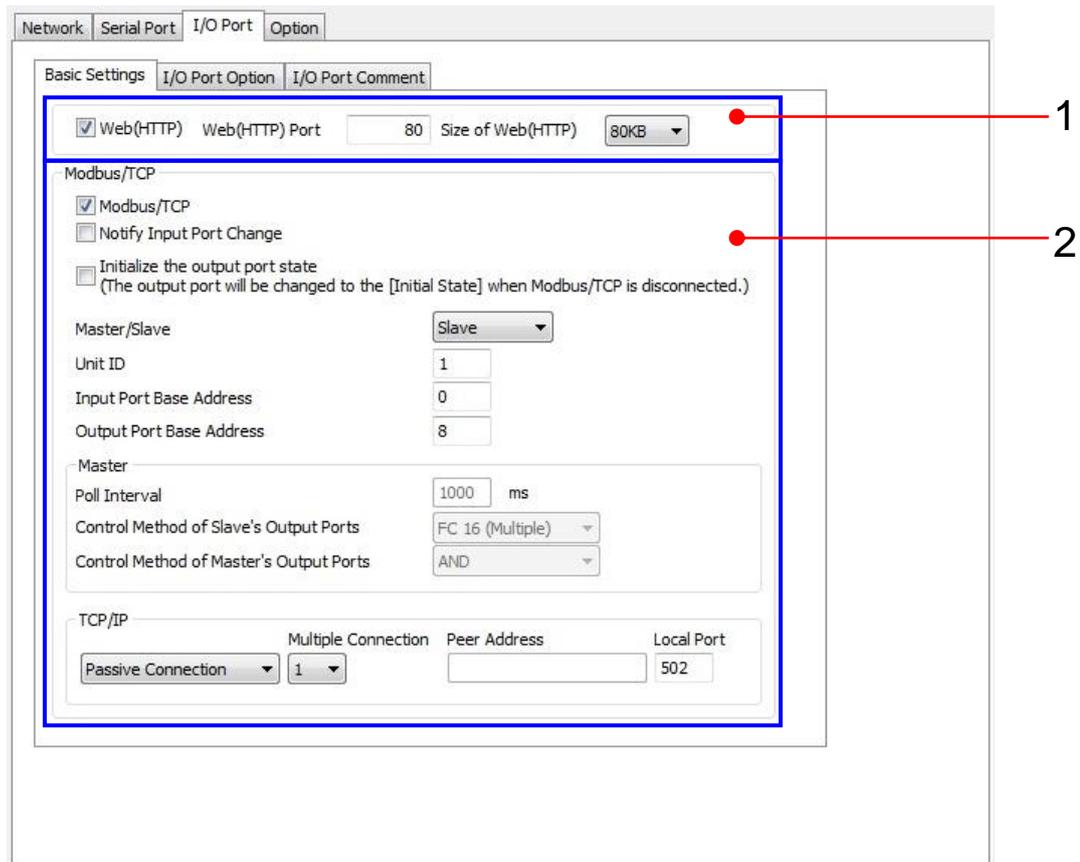


Fig 2.5-3 ezManager 機能設定エリア-I/O Port タブ-Basic Settings

項目	内容	
1. Web (HTTP) Web ページ設定	Web (HTTP)	Web ページを有効にします
	Web (HTTP) Port	Web ページのポート番号を設定します
	Size of Web (HTTP)	Web ページサイズ設定 80/96/112 からサイズ選択できますが、80KB に固定してください
2. Modbus/TCP 設定	Modbus/TCP	Modbus/TCP を有効にします
	Notify Input Port Change	スレーブ設定時に入力ポート値が変更されると、即時マスターへレスポンスを送信する機能を有効にします
	Master/Slave	Master、Slave の設定をします
	Unit ID	スレーブ時：本体の Unit ID を設定します マスター時：相手機器の Unit ID を設定します
	Input Port Base Address	スレーブ時：本体の入力ポートアドレスを設定します マスター時：相手機器の入力ポートアドレスを設定します
	Output Port Base Address	スレーブ時：本体の出力ポートアドレスを設定します マスター時：相手機器の出力ポートアドレスを設定します
	Poll Interval	本体がマスター時にスレーブへ送信する Read Multiple クエリ送信周期(単位：ms)を設定します
	Control Method of Slave's	スレーブ時の制御方式を設定
	Control Method of Master's	マスター時の制御方式を設定
	接続方法の選択	Passive：接続要求を待ちます Active：設定したアドレス (Peer Address) とポート番号 (Peer Port) へ TCP 接続をします
	Multiple Connection	複数接続の許可数を設定
	Peer Address	接続先のアドレス
	Peer Port	Passive 時：待ち受けポート番号 Active 時：接続先ポート

Table 2.5-3 I/O Port タブ—Basic Settings 設定詳細

## I/O Port Option

I/O Port タブ内「I/O Port Option」タブでは I/O ポートに関する追加設定を行います。

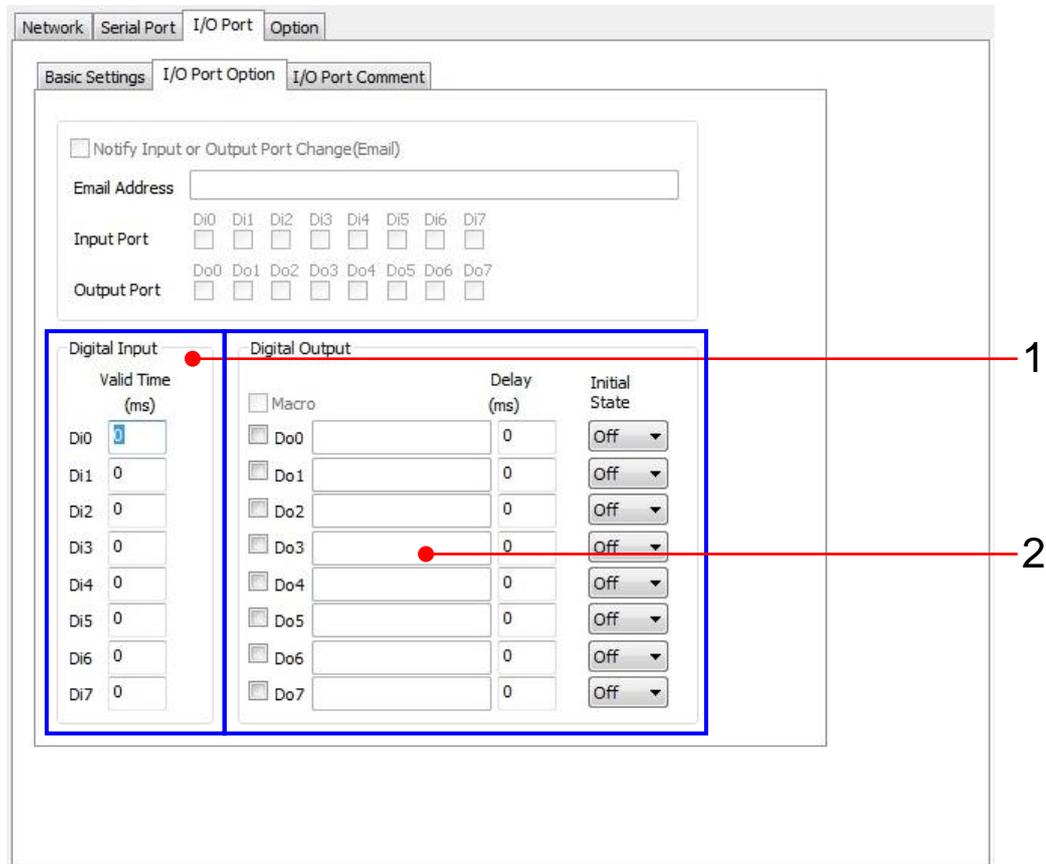


Fig 2.5-4 ezManager 機能設定エリア-I/O Port タブ-I/O Port Option

項目	内容	
1. Digital Input	Valid Time	Valid Time を設定します Valid Time の詳細については、CIE-H10 のハードウェアマニュアル「入出力ポート」の項目を参照してください
2. Digital Output	Macro	マクロ機能を有効にします
	Do0~Do7	各出力ポートの設定する演算式を入力します
	Delay (ms)	Delay を設定します Delay の詳細については、CIE-H10 のハードウェアマニュアル「入出力ポート」の項目を参照してください
	Initial State	起動時の出力ポート状態を設定します

Table 2.5-4 I/O Port タブ-I/O Port Option 設定詳細

## I/O Port Comment

I/O Port タブ内「I/O Port Comment」タブでは I/O ポートにコメントを設定します。

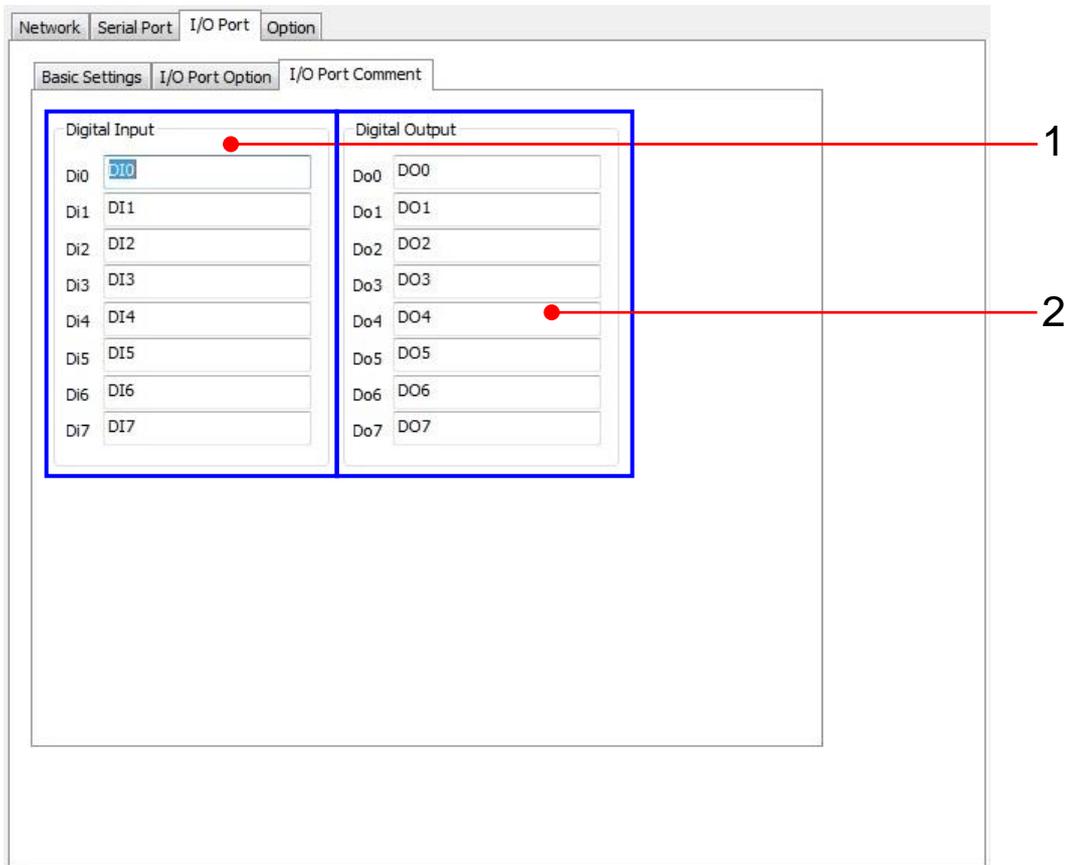


Fig 2.5-5 ezManager 機能設定エリア-I/O Port タブ-I/O Port Comment

項目	内容
1. Digital Input	Web ページに表示する各入力ポート名を記入します
2. Digital Output	Web ページに表示する各出力ポート名を記入します

Table 2.5-5 I/O Port タブ-I/O Port Comment 設定詳細

## 2.5.4 Wireless LAN 設定

Wireless LAN タブでは無線 LAN インタフェースの SSID など、無線 LAN 通信に関する設定を行います。

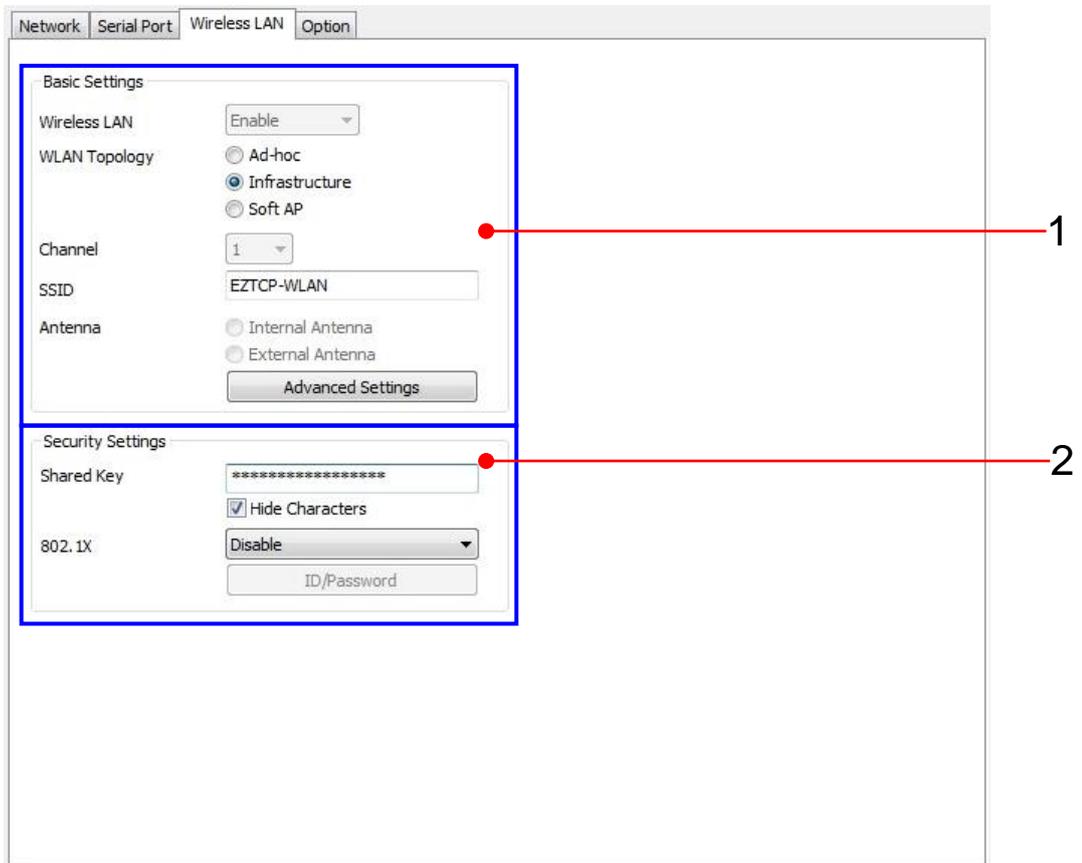


Fig 2.5-6 ezManager 機能設定エリア-Wireless LAN タブ

項目	内容	
1. 無線基本設定	WLAN Topology	無線 LAN 通信方式を設定 Ad-hoc : アドホック Infrastructure : インフラストラクチャー Soft AP : Soft AP
	Channel	無線通信チャンネル(1~13)を設定
	SSID	無線 LAN 識別子を設定
	Advanced Settings	Advanced Settings (高度な設定) ダイアログを開き設定
2. 無線セキュリティ設定	Shared Key	WEP と WPA それぞれのプリシェアードキーを設定
	Hide Characters	プリシェアードキー欄の表示/非表示を設定
	802.1X	WPA エンタープライズ設定の選択
	ID/Password	WPA エンタープライズ設定で使用する ID と Password を設定

Table 2.5-6 Wireless LAN タブ設定詳細

## 2.5.5 Option 設定

Option タブではファイアウォールなど、追加機能に関する設定を行います。

The screenshot shows the 'Option' tab in the ezManager interface. It is divided into three main sections:

- Option:** Contains checkboxes for Telnet (checked), Send MAC Address, SSL, SSH, IPv4 Address Search (checked), Debugging Message, Multiple Connection, and Power Management. There is also a text input field for 'Comment'.
- ezTCP Firewall:** Contains checkboxes for Allowed MAC Address and Allowed IP Range. Below these are input fields for IPv4 Address (0.0.0.0), Network Mask (0.0.0.0), and IPv6 Address. There is also an 'Apply To ezManager' checkbox.
- Notify IPv4 Change:** Contains a 'Protocol' dropdown menu (set to 'Disable'), an 'Interval' input field (0 Minute(s)), a 'Port' input field (0), and a 'Data Type' dropdown menu (set to 'ASCII'). Below these are input fields for DDNS ID, DDNS Password, and Host Name(custom).

Three red lines with numbers 1, 2, and 3 point to the 'Option', 'ezTCP Firewall', and 'Notify IPv4 Change' sections respectively.

Fig 2.5-7 ezManager 機能設定エリア-Option タブ

項目	内容	
1. 追加機能設定	Telnet	Telnet ログインを有効にします
	Send MAC Address	TCP セッション接続時に MAC Address を送信します
	SSL	SSL 通信を有効にします
	SSH	SSH 通信を有効にします
	SSH ID	SSH ID を設定
	IPv4 Address Search	ezManager からの検索に回答します
	Debugging Message	デバッグメッセージ出力機能を有効にします
	Multiple Connection	複数接続を有効にします
	Power Management	電力制御を行います
	Comment	コメント欄
2. ファイアウォール設定	Allowd MAC Address	MAC アドレスによる制限を有効にします
	MAC Address	有効にする MAC アドレスを設定
	Allowd IP Range	IP アドレス範囲による制限を有効にします
	IPv4 Address	IPv4 IP アドレスを設定
	Network Mask	IPv4 IP アドレス範囲を指定する Network Mask を設定
	IPv6 Address	IPv6 IP アドレスと Prefix で範囲を設定
	Apply To ezManager	ezManager のアクセス制限を行う
3. IP アドレス通知設定	Protocol	通知プロトコルを選択
	Interval	通知間隔を設定
	Port	通知先ポート番号を設定
	Data Type	通知データタイプを HEX と ASCII から選択
	DDNS ID	ダイナミック DNS サービスの利用 ID を設定
	DDNS Password	ダイナミック DNS サービスの利用パスワードを設定
	Host Name	通知先アドレスを IP アドレスかホスト名で設定

Table 2.5-7 Option タブ設定詳細

## 改定履歴

版数	日付	改定内容
1 版	2009/06/25	新規作成
2 版	2012/09/28	ezManager v3.1L 対応
3 版	2012/11/29	ezManager v3.2A 対応
4 版	2017/06/30	ezManager v3.3C 対応 対応製品に CIE-H14、CSE-M53N、CSE-H53N を追加
5 版	2023/10/02	対応製品を更新 対応 OS を更新 住所を更新

## 本文書について

- ・ 本文書の著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有します。
- ・ 本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・ 本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本文書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点、誤りなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・ 本文書の内容に基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

## 商標について

- ・ ezManager は、SollaeSystems の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ Windows®の正式名称は Microsoft®Windows®Operating System です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Windows®11、Windows®10、Windows®8.1、Windows®8、Windows®7 は、米国 Microsoft Corporation.の商品名称です。  
本文書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承下さい。  
Windows®11 は Windows 11 もしくは Win11  
Windows®10 は Windows 10 もしくは Win10  
Windows®8.1 は Windows 8.1 もしくは Win8.1  
Windows®8 は Windows 8 もしくは Win8  
Windows®7 は Windows 7 もしくは Win7
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 著作権およびサポートについて

- ・ ezManager（以下、本ソフトウェア）の著作権は SollaeSystems 社が保有しています。  
本ソフトウェアを無断で譲渡、転売、2次配布することは一切禁止いたします。
- ・ 当社は本ソフトウェアに関し、海外での保守サービス及び技術サポート等を行っておりません。
- ・ 本ソフトウェアの運用の結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承ください。



株式会社アルファプロジェクト  
〒431-3114  
静岡県浜松市中央区積志町 8 3 4  
<https://www.apnet.co.jp>  
E-Mail : [query@apnet.co.jp](mailto:query@apnet.co.jp)